

伊賀市議会だより

No.70
2022.8.1



週末ソングライターが
やりたいこと やれること

関連記事は 14 ページ

伊賀市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

全員賛成で
可決

総合福祉会館の2階を改修し、事務室及び会議室等を整備することに伴い、貸室とする会議室の利用料金を設定します。また、総合福祉会館の指定管理者の指定期間を3年間から5年間に改めます。

（新たに設置される会議室の利用料） 想定利用人数（約28名）

区分	午前 (午前8時30分～正午)	午後 (午後1時～午後5時)	夜間 (午後6時～午後9時30分)
室名 会議室③	400円	500円	400円

質疑（委員会）

問 会議室利用料金の算定根拠は。

答 料金設定にあたり、近隣施設を参考に1㎡あたり8円に時間を掛ける等して、利用料金を算出している。

伊賀市下水道条例等の一部改正について

賛成多数で
可決

市町村合併以降地域差がある下水処理施設の使用料を統一するとともに、今後の事業運営に必要な収入を確保するため、使用料の体系及び金額を見直します。

質疑（委員会）

問 小口使用者や子育て世帯、高齢者世帯へ配慮しているのか。

答 激変緩和措置を講じている。10㎡までの使用者については累進率を大幅に下げている。

問 本条例施行によってどれぐらいの負担増を見込んでいるのか。

答 答申に基づき全体として1.4倍の増収を見込んでいる。3人世帯、20㎡使用を一般的な家庭とみなすと約5,170円程度になるのではないかと想定している。



討論（委員会）

賛成

なぜ今なのかということを市民に十分理解してもらうよう努力してもらいたい。未処理や単独浄化槽に対して早急に水処理が完結できることも含めて、今後取り組んでいただきたい。

討論（本会議）

反対

行政が責任を持つ集合処理施設の整備率も、個別処理施設を含む生活排水処理施設全体の整備率も他市と比較して低く、水質保全や快適な生活環境の整備を進めなければならない市の責任が問われている。改正案の使用料は他市と比較して高額であり、小口使用者等へ配慮したのか疑問が残る。またコロナ禍や物価高騰の中での引き上げに市民の理解が得られるか疑問である。

梯子付消防自動車の買入れについて

全員賛成で
可決

伊賀市・名張市消防連携・協力実施計画に基づき適切な災害対応を行うため、伊賀消防署に配備する梯子付消防自動車を買入れします。

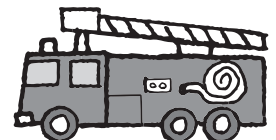
質疑（委員会）

問 なぜ、1者随意契約としたのか。

答 2者が参加し業者を特定、その後1者と随意契約とするプロポーザル方式を行ったため。

問 見積業者と随意契約しているが、おかしいとは思わないか。

答 特殊な車両であるため取扱い業者が非常に少ない中で、プロポーザル方式により、価格面も含めて競争原理が働き、総合的に判断できたものと考えている。



討論（委員会）

賛成

市民の安全を守るために不可欠なものであり、消防の様々な経験が生かされた車両だと思う。しかし、契約に至る経緯については甚だ疑問を感じる。今後、入札・契約においては消防だけは特殊だということではなく、誰からも疑いの目で見られることのないよう、正々堂々とした契約で臨んでもらいたい。

令和4年度一般会計補正予算

全員賛成で
可決

●補正予算（第2号） 9,210万7千円の増

「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」として、低所得の子育て世帯に対して児童一人当たり一律5万円の「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給するための予算の追加

●補正予算（第3号） 3億2,405万9千円の増

国・県等の補助事業の追加、変更に伴う事業費の補正を行うほか、仮想美術館の構築費、プレミアム付商品券を発行する商工団体への補助、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業費、青山福祉センター空調設備の改修費、救急自動車の更新費などの予算の追加

【主なもの】

○新型コロナウイルス対策事業	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億1,768万4千円
プレミアム付商品券事業補助金	1億7,247万3千円
救急車購入費	2,951万3千円
○文化芸術推進費	
仮想美術館構築業務委託料、仮想美術館運営管理業務委託料	3,049万2千円
○青山福祉センター施設改修事業	
福祉センター施設改修工事費	1,004万3千円

修正議案提出！



補正予算（第3号）のうち文化芸術推進費の仮想美術館構築業務委託料、仮想美術館運営管理業務委託料と仮想美術館運営管理業務委託経費の債務負担行為限度額2,739万円（令和4年度から令和9年度まで）を削除とする修正議案が提出されました。

賛成多数で
可決

（主な修正理由）

「伊賀市に寄贈された作品を、市民を中心とした多くの人に見てもらおう」という目的は、バーチャルという方法を巨額の費用をかけて構築せずとも、他のより望ましい方法で実現可能であると考えられること。また、費用対効果が不明確なことや、寄贈作品のバーチャル展示よりも現在の保管状況を危惧する意見も多いこと。

コロナ禍と現下の国際情勢を原因とする物価高騰により、物流業者や、農業、福祉、介護に携わる方々、また子育て世代の方々をはじめ、市民はたいへん苦しい状況にある。そうした中、仮想美術館を、今、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使い、構築していく優先順位には疑問を感じるため。



仮想美術館構築業務委託料及び仮想美術館運営管理業務委託料3,049万2千円と仮想美術館運営管理業務委託経費の債務負担行為限度額2,739万円を削除した補正予算（第3号）が可決されました。

全員賛成で
可決

●補正予算（第4号） 2億4,747万4千円の増

コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」や新型コロナウイルス感染症対策に関する事業について事業費の補正を行うもので、伊賀鉄道電力料金高騰対策助成金、キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金、学校給食費等負担軽減補助金などの予算の追加

全員賛成で
可決

【主なもの】

○新型コロナウイルス対策事業	
キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金	1億9,874万3千円
伊賀焼伝統産業会館施設改修工事費	801万9千円
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	504万円
○伊賀鉄道活性化促進経費	
伊賀鉄道電力料金高騰対策助成金	1,800万円
○学校給食管理経費	
学校給食費等負担軽減補助金	1,646万2千円

請 願 者 公益社団法人 伊賀市シルバー人材センター 理事長 福山康宣
 紹介議員 北山太加視、森中秀哲、北森 徹、市川岳人、赤堀久実、百上真奈

要 旨 (抄)

2023（令和5）年10月から消費税率の仕入税額控除の方式としてインボイス制度の（適格請求書等保存方式）が導入されます。これまで基準期間の課税売上高が1,000万円以下の事業者であれば、消費税の納税は免除されていましたが、インボイス制度の登録事業者になれば、売上高にかかわらず納税義務が発生することになります。請負や委任契約をしているシルバー人材センターの会員も納税義務者の対象となります。

今回のインボイス制度の導入で、免税事業者であるシルバー人材センターの会員はインボイスを発行することができないことから、シルバー人材センターは仕入税額控除が出来なくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じます。しかし、公益社団法人であるシルバー人材センターの運営は収支相償の原則から、余剰金はなく新たな税負担の財源もありません。

シルバー人材センターにとって新たな税負担は、まさに運営上死活問題であり存続の危機となりますので、シルバー人材センターに負担を強いるような事態を避け、引き続き安定的な事業運営が可能となるよう必要な措置を強く求めます。

討 論 (本会議)

反 対

インボイス制度の中で預かり消費税を納税していくことは大切なことであると考えため。また、適正価格をもって生きがいを発揮していくとするならば、国に意見書を出すよりも伊賀市に対して国の通達を遵守するよう求めることで十分であると考えため。

討 論 (本会議)

賛 成

公益社団法人であるシルバー人材センターに、インボイス制度がそのまま適用されると、多額の税負担が課せられることとなり、会員の配分金を引き下げざるを得ない状況になる。シルバー人材センターをインボイス制度の適用除外等の特例にすること、または追加的な財政支援を行うことを国に求める。

意見書提出 (発議第4号)

意見書を、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国税庁長官、厚生労働大臣、経済産業大臣に提出しました。

審議した議案と各議員の賛否

6月定例会

○：賛成 ×：反対 ー：近森議員は議長のため採決に入っていません

件 名	賛成：反対	議決結果	北山太加視	釜井敏行	西條工子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久実	田中宗久	上田正利	近森一彦	中谷真奈	百上久徳	中岡久徳	
			請願	18：3	採択	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	ー	○
市長提出議案	19：2	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議員提出議案	16：5	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	ー	○	○	○	
全員賛成で可決（承認を含む）した議案																									
市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度伊賀市一般会計補正予算（第2号） 令和4年度伊賀市一般会計補正予算（第3号） 伊賀市応急診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正 伊賀市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正 伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 伊賀市公共下水道事業受益者負担金に関する条例及び伊賀市農業集落排水事業分担金徴収条例の一部改正 												<ul style="list-style-type: none"> 工事請負契約の変更 梯子付消防自動車の買入れ 専決処分の承認（令和4年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）） 専決処分の承認（令和4年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）） 令和4年度伊賀市一般会計補正予算（第4号） 												
議員提出議案	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援を求める意見書の提出 																								

市政を問う

一般質問は、6月13日、14日、15日の3日間で、18人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。
【QRコード】で市議会ホームページから「伊賀市議会チャンネル」(YouTube)をご覧ください。



QRコード▶

一般質問

濱瀬 達雄 議員

質問項目

●防災



問 市街地の火災、水害の対応は

答 災害の対応に尽力します

大規模な火災の場合、同時に複数の消火栓から吸水を行うと水圧の低下が懸念されるため、吸水する場所を十分考慮して消火活動をしています。また、木造密集地域の火災に対応するため、効果的なはしご車の運用を考えています。

浸水、洪水対策については、雨水が下水管の容量を超えると水害が起こるため、下水管の整備を長期的ではあるが行っていく必要があります。

問 ご先祖様の資産を守っていくための防災対策は

答 多機能な政策で子どもたちに伊賀市を残したい

防災は脆弱な面があり、特に火災に対しては水が大事です。20世紀遺産に選ばれた伊賀市を未来に残していくために、旧上野市時代に計画された「丸之内ルネサンス事業」を参考にしたいです。それは景観や市街地の水の確保にすぐれた事業でした。「新丸之内ルネサンス事業」という形で進めていきたいと思えます。

問 就学援助の対象者拡大を

生活保護の級地が伊賀市と同じ亀山市、鈴鹿市、伊勢市、鳥羽市、甲賀市は、就学援助の対象となる生活保護基準が1.5ですが、伊賀市は1.2で、同じ所得でも伊賀市では対象外になります。

物価高騰により困窮家庭の増加が懸念される今こそ、基準を近隣市と同等に引き上げてください。

答 基準の見直しを検討します

今の経済状況を勘案し、財務部とも協議をして見直しを検討します。

問 特別障害者手当について正しく周知を

障害者手帳がなくても申請ができ、有料老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者住宅は在宅扱いなので、入所している方も対象になります。よって、要介護4、5の人も、特別障害者手当を受け取れる可能性がありますので、正しく周知してください。

答 正しく周知します

ホームページや障がい者福祉ガイドブックをわかりやすく修正し、ケアマネジャーや介護関係者、市民に制度を正しく周知します。

百上 真奈 議員

質問項目

- 物価高騰から市民の暮らしを守る施策
- 生活保護行政の充実
- 特別障害者手当の周知徹底



川上 善幸 議員

質問項目

●地域の交通手段に関して



問 地域が助け合いで行う交通手段に支援を

道路運送法の許可・登録不要の移動支援が全国的な広がりをみせています。

互助で行う活動に市として支援できませんか。

答 今後具体的な検討をしていく

今回の地域公共交通計画は、市内の移動資源を最大限に利用しようという中で、許認可不要の送迎は抜け落ちています。

今後市民のニーズを聞きながら具体的にどうしていけば良いのか検討していきます。

問 訪問型サービスB・Dの実施を

名張市では訪問型サービスBと訪問型サービスDで生活支援や移動支援に対する補助を行っています。

伊賀市でも同じように実施できませんか。

答 現状の把握から努め調査研究します

訪問型サービスB及びDは総合事業の一環で、ゴミ出しから掃除、買い物代行、外出時の付き添いの生活援助サービスBと、移動支援や移送前後の生活支援サービスDがあります。事業として取り組んでいるところを参考に課題や地域でのニーズの把握に努めます。

一般質問

西田 方計 議員

質問項目

- 「みんなが参加できる」まちづくり推進のために



問 市民人権意識調査の結果をふまえ、差別解消をめざし、展望のもてる啓発や学習を

答 啓発や学習をオール伊賀市で進めます

市民意識調査（令和4年3月公表）の結果にある部落差別意識の現実をふまえ、市民一人ひとりが自分の問題として受け止めてもらえる啓発となるよう取り組みます。

市職員は人権意識を磨き、人権尊重の視点に立って職務を進めます。

また、地区懇談会等に市職員や教職員が主体的リーダー的立場で参画できるよう、人材育成に取り組みます。

問 「結果の平等」をめざし、みんなが参加できるまちづくりを

答 支所による地域支援をいっそう進めます

男女共同参画のまちづくりが理解され、定着するよう支所配置の地域担当職員や実務担当者が啓発していきます。

また防災については、防災情報アプリ「ハザードン」を活かすとともに、災害時地区市民センター指定職員、防災危機対策局や支所職員が地域と連携し、情報共有を図りつつ災害に備えます。

問 伊賀市生活排水処理施設整備計画の見直し状況は

公共下水道・特定環境保全公共下水道・農業集落排水に係る処理区の統合構想は。

答 現在32ある処理区を15処理区まで統合を予定しています

問 農業集落排水処理区域での水洗化率は

答 令和3年度末の対象処理人口は16,253人で、その内水洗化人口は13,947人で平均85.8%です

なお、処理区の最高は100%、最少は73.5%という状況です。

問 合併処理浄化槽の点検状況とその内容は

浄化槽により汚水処理を行っている家庭の法定点検の実施状況と罰則の規定は。

答 浄化槽保守点検等の実施率向上は課題です

法定検査の受検率は、合併処理浄化槽は8,167基中61%、単独処理浄化槽は4,287基中33.1%です。保守点検は4か月に1回以上、汚泥引抜きは毎年1回、法定検査は年1回です。検査を受検しない場合の罰則ですが、県による受検を促す指導助言や30万円以下の過料が定められています。

北山 太加視 議員

質問項目

- 伊賀市の下水道事業



桃井 弘子 議員

質問項目

- 不妊治療
- 高齢者施設の利用



問 先進医療の対象であるERA・EMMA・ALICE検査に対し補助金を出すべきでは

ERA検査は着床のタイミングを調べます。EMMA検査は着床にとって良い菌がどれくらい子宮内にあるかを調べます。ALICE検査は慢性子宮内膜炎の原因となる細菌を調べます。ERA・EMMA・ALICEは不妊治療には欠かせません。出生人数の減少また不妊治療をされて妊娠された実績からもERA・EMMA・ALICE検査に対し補助金を出すべきでは。

答 助成事業を実施します

県の制度に合わせて助成事業を実施し、

保険適用外の先進医療についても治療者の自己負担を軽減していきます。

問 高齢者施設の利用について必要な情報を「見える化」するべきでは

どのような方が利用でき、どのようなサービスが提供されるか。また、費用面も含め利用者、ご家族、市民に対して親切丁寧な広報をし、ホームページも充実させるべきでは。

答 必要とする情報が必要としている方に届くように、分かりやすく「見える化」するよう努めます

一般質問

森中 秀哲 議員

質問項目

- 持続可能な伊賀市のための公共交通インフラ



問 JR関西本線の利用促進を広域一帯で

JR西日本が発表した「輸送密度が低い線区」リストに、関西本線亀山・加茂間が含まれていました。利便性向上と利用促進に沿線広域一帯で取り組みましょう。

答 沿線連携を強化、利便性向上を求めます

「名古屋・大阪から伊賀鉄道直通列車」構想など、利便性向上を求めています。JRと府県を越えた沿線自治体との協議体を新たに設置し、連携を強化します。市民と危機意識を共有し、市の部局を越えた取り組みも進めます。

問 伊賀鉄道の将来像を市民参加で

令和8年度で伊賀鉄道の事業再構築実施計画期間が終了します。その後の将来像策定に利用者・市民参加で早く取り掛かりましょう。

答 できるだけ早く策定に着手します

市域全体の市民の声を集め、経営のあり方、利便性向上などの将来像を自由な発想で描く必要があり、できるだけ早期に着手します。

問 廃止代替バスの期限が迫っています

デマンド交通導入のスケジュールは。

答 来年度中の実証運行開始を目指します

1地域をモデルに実証開始計画中です。

問 小中学校に音声教科書の導入を

読み書きが苦手な児童生徒が増えていきます。タブレットを使った音声教科書を利用することで、各自にあった早さの音読や自宅でも学習ができ、導入した他市では苦手だった児童生徒が減少したと聞きます。外国にルーツのある子どもたちにとっても、学習のよいツールになると思います。

答 取り組んでいきます

視覚や聴覚にも入りやすく、読み書きが困難な子どもたちにも大変に有効だと思います。登録すれば無料で利用できるので、早速利用していきます。

問 ブックスタート事業の再導入を

最近では、子どもたちの読解力が低下していると言われていています。読解力を高めるには、読み聞かせが大切で、自己肯定感を育むにも効果が期待できると言われています。幼い時期、親子のふれあいで愛情を感じることは、とても大切です。

市から本をファーストプレゼントにするべきです。

答 親子のふれあいに、より有効なかたちで実施します

赤堀 久実 議員

質問項目

- 子どもたちの学習支援と環境



中谷 一彦 議員

質問項目

- 予防接種健康被害救済制度
- 独居高齢者に対する市営住宅の対応
- 行政無線廃止の影響
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
- 川上ダム事業の来春の完成に向けて



問 川上ダム事業の総事業費総額、負担金並びに水道料金への影響は、また、コロナ対応で令和2年度のように水道基本料減免を

答 減免は効果なしと考え、見送りとなりました

総事業費は77億円減の1,103億円前、負担金は11億円減の90億円程度、災害等がなければ現行料金です。コロナ禍が一定収束しているため大きな効果なしと考え、見送りとなりました。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付限度額と3次補正後の残額及び基金の残

額は。また、原油高騰の影響による諸物価の上昇など厳しい社会情勢の中、介護報酬など国の報酬で安易に利用料金を値上げできない社会福祉事業者等に事業継続を支援することで市民サービスを維持し、利用者及び事業者の安心した暮らしを守るため社会福祉施設等あんしん支援金事業の実施は。

答 あんしん支援金事業を検討します

令和2年度及び補正額を含め総額23億5,385万2千円で残額1億9,668万9千円、基金1億3,651万2千円です。「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」交付限度額3億2,339万8千円の実施計画を7月29日までに国に提出予定です。事業実態調査後に検討します。

一般質問

北森 徹 議員

質問項目

- 伊賀市放課後子どもプラン
- 伊賀市の中心市街地のグランドビジョン



問 子どもの居場所作りは大事

放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の主旨と現状は。

答 伊賀市は放課後児童クラブが充実しています

放課後児童クラブは、市内に20箇所あり、小学校校区をカバーして、専任の指導員のもと充実したサービスを有償で提供しています。

一方、放課後子ども教室は、市内に4箇所あり、子どもの交流活動の機会を設け、地域のボランティアに週に1、2回程度放課後無償で対策事業として子ども達に地域の歴史を教えていただくなど子どもの居場所を確保しています。

放課後児童クラブは健康福祉部で、放課後子ども教室は教育委員会と所管が異なりますが、お互いに協力、連携していきます。

問 地域の自治協の協力も得てコミュニティスクールでの子ども教室も可能では

答 様々な支援をしていきます

伊賀市内では、様々な団体がボランティアで青少年育成の目的で活動していただいています。今後も、地域やボランティアのご協力をいただきながら、放課後子ども教室の開設や青少年育成に関して教育委員会も様々な支援をしていきます。

問 市長が出向く広報広聴を

市民とまちづくりを進める上では、市民と真摯に向き合い、行政の現実を伝え、地域の現実を聞き、お互いに意見をぶつけ合う「対話」が非常に有効な手段です。市民との対話について市長の見解を伺います。また、市長に来てもらいたい方々が申し込みできる仕組みを構築することについて見解を伺います。

答 仕組みを検討します

市民との対話は重要な手段のひとつであると考えます。申し込みできる仕組みの構築については、今後検討していきたいと思えます。

問 オーガニックビレッジ宣言を

国の30年後の農業のビジョンにあたる「みどりの食料システム戦略」に、生産から消費まで地域ぐるみで有機農業を進めていく「オーガニックビレッジ宣言」制度が設けられました。この制度について市の見解を伺います。また、今後どのように取り組みますか。

答 宣言を目指します

早期に体制づくりに取り組み、構想を構築し、継続的に取り組んでいきたいと思えます。

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 対話と共創のまちづくり
- みどりの食料システム戦略
- 一般廃棄物の広域処理



市川 岳人 議員

質問項目

- デジタル社会への対応
- 物価高騰への対応
- 医療的ケア児と家族への対応
- 部活動地域移行への考え方



問 物価高騰に喘ぐ市民や事業者を下支えする必要があります

肥料・燃料高騰に苦慮する農業従事者への支援として、伊賀米次期作支援を継続実施すべきではないですか。また、伊賀牛肥育農家に対し市独自の飼料高騰支援を検討すべきではないですか。

答 下支えが必要です

伊賀米次期作支援については、伊賀ふるさと農業協同組合において、8月頃に令和4年産米概算金価格表の発表がある見通しです。昨今の世界情勢の影響を受けて資材価格が上昇しています。今後も農林業を取り巻く状況を注視し、次期作支援を含め伊

賀米ブランドを守る取り組みを検討します。

牛肥育農家に対する支援については、配合飼料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、畜産業全体に対して国の配合飼料価格安定制度があります。また、三重県は独自に、国の制度を補完する制度を設ける予定です。市としては、関係機関と協力して対象者が漏れなく補てんを受けられるよう当制度の周知を行っていきます。

一般質問

増田 雄 議員

質問項目

- 歴史文化を活かしたまちづくり



問 水をきれいに

中心市街地の汚水処理は、公共下水道整備から合併処理浄化槽整備に転換されましたが、設置率向上のために個別だけでなく、複数戸の合併処理浄化槽の設置にも補助金を出すよう検討しては。

答 複数戸の合併処理浄化槽設置補助金も検討します

地形などの特殊状況による2戸に1基の浄化槽設置は補助金対象です。今後、複数戸への合併処理浄化槽設置補助金についても、状況を鑑みながら前向きに検討していきます。

問 芸術作品を身近に

まちなか回遊に相乗効果を生むよう、リアル美術館の設置を。

答 美術館の設置場所も含め検討します

五感で感動することが、人間性を豊かにします。地域や市民との交流により、文化創造の拠点になる役割もあります。設置場所も含めて、皆さんと一緒に考えていきます。

問 子育て支援のDXで母子手帳アプリの導入を

「安心して子どもを産み、育てることができる伊賀市」の目標と、子育てノンストップの実現に向けて、ICTを活用した母子手帳アプリの導入について所見を伺います。

答 子育て応援のまちづくり、誇れる、選ばれる、住み続けたい伊賀市のためのデジタル活用施策として導入の検討をしていきます

健康福祉部とデジタル自治推進局が連携して、妊娠から出産、育児まで子どもを安心して、産み育てられる「子育て応援のま

ちづくり」の一助となる母子手帳アプリの導入を前向きに検討していきたいと考えます。

導入にあたっては、ニーズ調査をしながら、利用しやすい形態のものを検討していきます。

問 子宮頸がんワクチン接種の周知は

4月から国の積極的勧奨再開を受けて市の状況を伺います。

答 小学6年生から高校1年生相当の対象者に個別通知はがきを発送して接種勧奨をします

キャッチアップ接種対象者にも5月に大型はがきを発送して周知をしました。

西條 エリ子 議員

質問項目

- 人口減少に対応したまちづくり
- 子育て支援のDX
- 子宮頸がんワクチン



釜井 敏行 議員

質問項目

- 伊賀市の人権政策



問 就職差別の実態は

市民意識調査の報告書には「同和地区出身であるという理由だけで就職ができない状況があり」という記述がありますが、そういった事例は調査期間中の5年間に何件発生したのですか。実際には発生していないのなら「同和地区の人は就職できない」という偏見を広げることになりませんか。

答 就職差別は起こっていません

就職差別は起こっていませんが、相談を受けたことはあります。報告書は誤解のないよう丁寧に説明し活用します。

問 部落問題の最終的な解決に向けての市長の思いは

差別撤廃条例の改正も含めて、部落問題の最終的な解決に向けての市長の思いを聞かせてください。

答 「必要な人に必要なサポートを」が大事です

差別撤廃条例は専決で18年前にできたものなので、県条例とも照らし合わせ必要なことは定めていくべきです。必要な人に必要なサポートをするべきなので、奨学金制度も見直し、一般施策として平等におこなっていくことが大事です。

一般質問

福岡 正康 議員

質問項目

- 過疎地域を守る人達への支援
- 高齢者への支援
- 指定文化財の活用



問 今回の過疎地域の拡大により、伊賀市変更過疎計画・過疎債充当の考え方は

過疎法は、人口の著しい減少によって活力低下した地域に対して、地域格差の是正並びに美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的としています。

本年度3,500万円の過疎債を充当できるソフト事業を、早期に選定又は新設され、目的を達成されたい。

答 地域の人と十分相談して、9月議会提出を目指しています

問 老人クラブに対して人的支援も含めて支援されたい

答 支援していきます

地域社会の担い手の一つとして生きがい活動や健康づくりを展開できるよう、現状抱える課題の洗い出しや解決に向けて支援します。

問 地域の文化財の活用や、バーチャル化の実施、管理運営修繕等の支援をされたい

答 大きな課題として検討していきます

問 市長の市政運営は本気ですか

総花的な施策より一点集中が必要で、現状を打開すべきです。

答 まちづくりは、人づくりです

不確実な時代であっても、故郷を守り、発展させていかななくてはなりません。

問 伊賀市は、国の孫請けだけですか

伊賀市の施策として、子育て支援のための給付が必要です。

答 財源はあります

一律な支援よりも別の方法で考えます。

問 コンセッション方式の導入は

行政改革の一つに伊賀市が持つ営業権を

譲渡する方法があります。

答 公民共創の手法として大切です

伊賀市への導入と民間事業者からの提案も検討中です。

問 特区が必要です

2025大阪・関西万博の取り組みや、自立圏のまちづくりは、流域的考えが必要です。

答 全く、そのとおりです

定住自立圏（伊賀市、笠置町、南山城村、山添村）のまちづくりには、行政圏や情報発信などの課題に対し、各首長と地域に適した形になるよう、特区を考えていきたいです。

田中 覚 議員

質問項目

- 本気の市政運営



上田 宗久 議員

質問項目

- 新産業用地PR動画「伊賀市へのいざない」
- これからの「伊賀流空き家バンク制度」



問 新しい産業用地に期待を持てますか

かねてからの計画であった「伊賀グリーンファクトリー計画」は、今年度になって動きがありました。伊賀市・三重県・民間開発事業者と三者協定が締結されたこと、名神名阪連絡道路が国から重要物流道路に指定されたこと。この二つの出来事で本市の将来にける期待を伺います。

答 伊賀市の持続可能な発展を目指します

新しい産業用地の創出により、雇用機会を増大し、若者の社会的流出を防ぎ、人口減少に歯止めをかけることができます。名神名阪連絡道路完成を見据えた企業誘致を

進めます。

問 「空き家対策室」と地域住民との連携は

空き家対策は、地域により特性や習慣の違いがあることから、それぞれに課題や解決方法が異なります。地域住民と行政の話し合いの場が、これから大変重要になってきます。いかがですか。

答 今年度は、「猪田地区住民自治協議会」を「モデル地区」として取り組んでいます

地域と連携して空き家対策を進める必要がありますので、他地域にも取り組みを徐々に拡大してまいります。



伊賀市立上野総合市民病院の今後の方向性について

■ 教育民生常任委員会 6/17 ■

教育民生常任委員会の所管事務調査として、伊賀市立上野総合市民病院の今後の方向性について調査を行いました。

【主な調査内容】

- ・医師の確保について（特に一般内科医、放射線科医などの確保に力を入れていきたい。）
- ・看護師確保について（スマートフォンで見やすいホームページの画面づくりなどのリニューアルに取り組んでいる。また勤務を2交替制にするなど働きやすい勤務環境づくりに努めている。）
- ・介護と医療の連携推進について（地域医療連携室に事務職員・看護師・社会福祉士を増員して地域医療連携室と入退院支援室が連携してサポートしている。）
- ・経営における人材の育成について（病院経営のノウハウを有する職員を計画的に採用したい。）
- ・医療機器の更新について（PET-CTは令和4年度中に用途廃止する。）
- ・中長期的な病院経営ビジョンの策定（総務省のガイドラインにより経営強化プランを策定していく。）
- ・建物の老朽化対策について方針・見通し（適切なメンテナンスを行いながら出来るだけ長く活用していきたい。）
- ・新岡波総合病院との連携（岡波総合病院及び名張市立病院と十分な協議を行い、望まれる機能分化・連携の在り方を検討していきたい。）



バス交通の現状と現在の取り組みについて

■ 総務常任委員会 6/20 ■

総務常任委員会の所管事務調査として、バス交通の現状と現在の取り組みについて調査を行いました。

【主な調査内容】

- ・行政バスについて（事業評価基準を満たしているのはコミュニティバス「にんまる」と島ヶ原行政バスの2路線のみであり、利用者数も、平成29年度から令和3年度までに全体で3割減となっている。）
- ・廃止代替バスについて（令和2年4月から新しい運行計画に基づいた運行を開始し、令和4年度から令和6年度の利用実績により路線存続の判断を行うこととしている。利用促進の働きかけも行っているが、利用者数は減少傾向にある。）
- ・市民の意見（交通手段として頼りにしている一方、定時定路線のため使いにくいと感じている人が多い。）
- ・新たな運行形態の導入について（モデル地域を一地域選定し、運行方式やサービス水準を検討、令和5年度中に新しい運行形態（デマンド交通等）による実証運行を開始する予定である。）



地域意見交換会を開催

伊賀市議会では、本年度も各住民自治協議会と事前にテーマを選定し意見交換を行う「地域意見交換会」を開催します。

5/19 阿波

- ・地域振興について（過疎地域の指定を受けて）
- ・防災・情報アプリ（ハザードン）について 他

7/11 博要

- ・新規移住者の受け入れ促進と交流人口の増加について 他



政策形成・立案能力向上研修会を開催

6月30日、立命館大学法学部特任教授 駒林良則さんを講師に迎え、「地方議会における政策立案について－議員提案政策条例を中心に－」と題し、政策立案について、詳しくお話をいただきました。



議員からは多くの質問があり、議会改革に対する認識を深める研修会となりました。

議員からは多くの質問があり、議会改革に対する認識を深める研修会となりました。

令和3年度の政務活動費を報告します

交付の趣旨

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。

交付対象と額

請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。(月額2万円)

報告

交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。

返還

残額がある場合は、返還します。

収支報告書写しの閲覧

場所：議会図書室（市役所本庁舎5階 議会事務局内）
時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページでの公開

収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。



QRコード▶

令和3年度 政務活動費 議員別収支報告書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

議員氏名	交付額	交付対象額	残額	報告内訳					報告額合計
				調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	事務所費	
				視察等の調査研究に関する経費	研修会等に参加する経費	活動に必要な資料を作成する経費	図書や資料等を購入する経費	事務所管理に要する経費	
北山太加視	240,000	44,483	195,517	0	0	0	44,483	0	44,483
釜井 敏行	240,000	7,000	233,000	0	7,000	0	0	0	7,000
西條工リ子	240,000	34,295	205,705	0	8,086	0	26,209	0	34,295
西田 方計	240,000	132,117	107,883	0	0	0	132,117	0	132,117
濱瀬 達雄	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
増田 雄	240,000	48,420	191,580	0	29,550	0	18,870	0	48,420
森中 秀哲	240,000	165,984	74,016	0	82,000	0	62,144	21,840	165,984
川上 善幸	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
北森 徹	240,000	71,283	168,717	0	0	19,800	51,483	0	71,283
西口 和成	240,000	46,057	193,943	0	7,000	825	38,232	0	46,057
福岡 正康	240,000	89,661	150,339	51,620	7,000	19,800	11,241	0	89,661
宮崎 栄樹	240,000	139,164	100,836	0	65,000	0	74,164	0	139,164
桃井 弘子	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
山下 典子	240,000	109,194	130,806	0	0	0	109,194	0	109,194
市川 岳人	240,000	105,123	134,877	0	0	25,800	27,670	51,653	105,123
赤堀 久実	240,000	7,370	232,630	0	0	0	7,370	0	7,370
田中 覚	240,000	240,000	0	300,000	0	0	14,698	0	314,698
上田 宗久	240,000	19,800	220,200	0	0	19,800	0	0	19,800
近森 正利	240,000	26,554	213,446	0	0	23,364	3,190	0	26,554
中谷 一彦	240,000	17,811	222,189	0	0	0	17,811	0	17,811
百上 真奈	240,000	51,200	188,800	0	34,000	0	17,200	0	51,200
合計	5,040,000	1,355,516	3,684,484	351,620	239,636	109,389	656,076	73,493	1,430,214

※中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。

※「広報費」、「広聴費」、「会議費」、「人件費」については全議員支出がなかったため、掲載していません。

令和4年9月定例会日程（予定）

会期30日間

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	1 本会議 (開会)	2	3
4	5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10
11	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問) 終了後 決算 常任委員会	14	15 各常任委員会 (予算・決算 を除く)(※) 決算分科会	16 各常任委員会 (予算・決算 を除く)(※) 決算分科会	17
18	19 敬老の日	20 各常任委員会 (予算・決算 を除く)(※) 決算分科会	21	22	23 秋分の日	24
25	26 決算常任委 員会 終了後 予算 常任委員会	27	28	29	30 本会議 (閉会)	10/1

・すべての会議は、午前10時から始まります。また、定例会の日程は、変更になる場合があります。

(※) 決算議案は、総務・教育民生・産業建設のそれぞれ3つの常任委員会委員で構成する決算分科会を設けて、より詳細な審査を行うこととしています。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会
ホームページ

伊賀市議会

検索



YouTube

伊賀市議会チャンネルでは、本会議（定例会）や各常任委員会等の様子をYouTubeにて録画配信しています。

ぜひご覧ください。

伊賀市議会チャンネル (YouTube)

はこちら (伊賀市議会ホームページ内) →



会議録 検索システム

過去の本会議や委員会の会議録は、伊賀市議会ホームページで検索できます。



LINE

伊賀市議会に関する情報を発信しています。

ぜひ「友だち追加」をお願いします！

- (1) ソーシャルメディアサービス名：LINE
- (2) LINE表示名：伊賀市議会
- (3) LINE ID：@441kjazj



友だち追加方法

友だち追加QRコード

スマートフォンなどにLINEアプリをインストールして、次のいずれかの方法で「友だち追加」してください。

- ・方法1：メニューの「友だち追加」で「ID検索」を選択して、「@441kjazj」と入力して検索
- ・方法2：QRコードを読み込んで「友だち追加」

※運用方針等は、伊賀市議会ホームページに掲載しています。

ご利用にあたっては、運用方針の内容に合意のうえ、ご利用くださいますようお願いいたします。

編集 後記

今回は「週末ソングライター」花垣亮志さんの特集しました。取材は屋外でおこないましたが、2時間近く立ちっぱなしで音楽や伊賀市への想いを熱く語ってくださいました。印象的だったのは「リモート技術が発展した今だからこそ、仕事でも音楽でも直接人と会って、直接自分の想いを伝えたい」という言葉です。この伊賀市でもどんどんDXが進んでいきますが、これからも変わらず人と人のつながり、絆を大切にしていきたいと思えます。(釜井)

次号は11月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

笑顔で進む！ ココロをつなぐ！！

伊賀の未来をつなぐ、笑顔で元気な人を、広報小委員がインタビュー取材するコーナーです。

第4弾は、^{はながき}花垣 ^{りょうじ}亮志さん取材しました。



座右の銘は、「通用すると思わない。だからこそ挑戦する。」と熱く語る^{はながき}花垣 ^{りょうじ}亮志さんは、伊賀市を拠点にさまざまな場で活躍する平日サラリーマン、週末ソングライター。楽曲は「人」「ふるさと」「生きる」をテーマにしたものが多く、アコースティックギター1本で弾き語りをするスタイルです。

叔母にギターをもらい、兄の見よう見まねで音楽を始め、16歳の頃、雑誌で募集していたイベントで初めて人前で歌い、音楽の魅力を感じました。

その後、高校生時代に近鉄久居駅前ですトリートライブを重ね、熊本県で過ごした大学時代に人と繋がりながら続ける音楽活動を確立。28歳の頃に鳥羽市で開催の野外イベントに参加したことが今の伊賀市での活動の礎になりました。

阿保地区住民自治協議会の「阿保地区の10年後を考える」取り組みへの参加をきっかけに、地域と関わりながら、自分でイベントを企画するようになりました。

市民夏のにぎわいフェスタ、初瀬街道まつり、博要地区ほたる祭り、青山夏まつりへの出演、TONARIGUMI コンサート、ストリートライブ伊賀魂 -igadama-、ALOHA Rainbow Festival の企画・出演、伊賀市若者会議への参加などを通じて、伊賀市の新たな魅力づくりに取り組んでいます。

定期的にイベントをすることで、伊賀に帰ってきたい、伊賀を訪れたいと思ってもらえるきっかけにしたいと思っています。それが、みなさんの生きがいや心の豊かさに繋がることが目標でもあります。

以前は伊賀が嫌いでした。しかし、音楽を介した伊賀での時間が大きく自分の心情を変えました。出会った伊賀の人たちが興味深く、生まれ育ったふるさとが今は面白くて仕方ありません。

「花垣先生の息子やな」と声をかけられることが以前はコンプレックスでしたが、今こうして人のつながりを大切に生きることを教えてくれた父母に感謝しています。

「これから挑戦する若者の背中を押していきたいです。音楽をからめたイベントをしたい人は是非声をかけてください。」と熱く語る^{はながき}花垣 ^{りょうじ}亮志さんでした。さらなる活躍を期待しています。

^{はながき}花垣 ^{りょうじ}亮志さん連絡先 090-4869-0311 e-mail : rtfjiga@gmail.com)

